

令和3年 3月発行 その1

箕輪町 公民館だより



発行:箕輪町公民館 ☎79-2178



<文化センターではもう桜が満開 木下の有賀さんが育てた「おかめ富士桜」です>

公民館運営審議会が開かれました 2月18日(木)

「人が集い、交流し、つながる」ことをめざす公民館は、感染症拡大の予防対策を徹底しながら、「with コロナ」の公民館活動を模索してまいりました。



<会長の漆戸さん 胸にはシトラスリボンが>



<「やるにはどうしたらよいかを考えていきたい」>



<令和2年度の公民館事業の総括について>



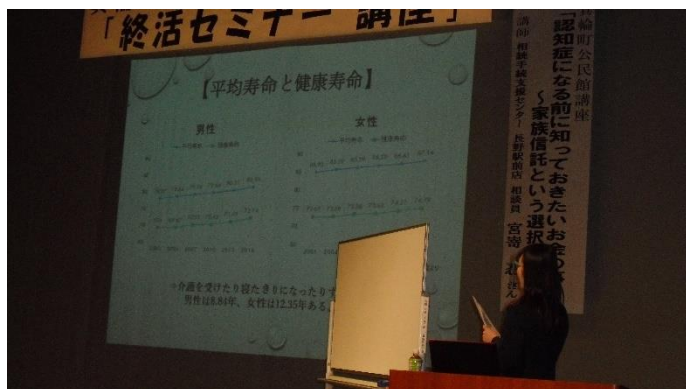
<令和3年度の事業計画について>

終活セミナー 2月13日(土)
認知症になる前に知っておきたいお金の事
～家族信託という選択～



<父が認知症にない意思確認ができないと、子は原則的に父にかわって不動産処分や預金解約ができません

>



<法定後見制度とともに、「家族信託」という制度があります>

公民館講座—スマホ初心者対象

始めよう！スマホ！ 2月16日(火)

スマホ講座は、「町長への手紙」に高齢者向けの勉強会を希望する声が寄せられたことを受けて企画されました。初心者を対象に、電源の入れ方、文字の入力の仕方、災害に関わる町のメール配信サービスの設定などを学びました。



＜講師は町内携帯ショップの皆さん＞



＜ 아이폰、アンドロイド、らくらくに対応した説明＞



＜皆さん 熱心に指を動かします＞



＜実際にやってみると何故かうまくいかない…＞



＜時間をとって、一人ひとりの疑問に対して何回も説明してくれます＞



ふきはら大学：保科正之を学ぶ

2月9日



＜講師は「名君 保科正之公の大河ドラマをつくる会」の幹事会会長さん＞



孤軍高遠城
詩：北原十九二 曲：飯田信夫
歌：三浦洸一

一 きさらぎ寒き 月光に
冴える雪山 めぐらせて
高遠城は そびえたつ
眉上げて待つ ますらおに
潮とせまる ああ織田の軍

二 色あせたれど 武田菱
この戦ゆえ かがやけど
三峯の流れを 血に染めて
守れば全軍 楯となり
攻むれば一騎 ああ千を撃つ

＜正之の感性と決断力は、高遠の地で鍛えられたもの＞



＜講演の最後は 正調「孤軍高遠城」の舞。高遠の小中学校では、毎年運動会で演舞するそうです＞

ふきはら大学院:俳句講座

2月12日(金)



〈講師は 箕輪俳句会の会長さん〉



〈先生自作の資料で俳句の基本をお聞きする〉



〈季語を入れて俳句を作ってみましょう〉



〈思わず頭をかかえる むむずかしい…〉



〈自作の句を発表し合い、グループの中で合評会〉

【参加者が作った俳句】

黙食と テイクアウトも 春こたつ

カサカサと 母の声かと 千大根

痛みし友の 賀状「復活」の文字乱れ

コロナ禍や 吾ひとり居の 春炬燵

蠟梅に 目をうばわれて 万歩計

コロナ禍や テレビとお茶と 春こたつ

古稀われの 背をこし孫の 卒業す

受験生 陽光をあび 歩き出す

しみる朝 会えぬ孫から ライン来る

老猫の 寝息もゆらす 冬嵐